

日本人に染み込む「集団腐敗体质」

—「日本人」とはどう定義され、どんな特徴を持つ民族ですか。

新谷 日本人というのは地理的、歴史的、主観的概念が複合的に組み合わさり定義されるもので一概には言えない。ただ、「稻作を基盤とした国民」という特徴がある。紀元前から始まった稻作が、長い時間をかけて三世紀ごろには古墳国家が成立した。米は美味く、米から造る酒も魅力的だった。稻作は狩猟と異なり、総合的な経営をしなければならない。そのため、「集団的な行動が第一」という考えが日本人に刷りこまれた。組織の中で目立たず在我慢すれば、盆や正月、収穫後に楽しい思いができる。そういう考え方を社会の基本にしてきた。そして、長かった武家社会の時代に、統治機構に組み込まれることを是とする意識も根づいた。

—現在の日本は様々な問題に直面していますが、多くの日本人はそんなに騒ぎません。

新谷 感覚的な言い方になるが日本

人には危機感がない。そして、現在の政治家に問題があつても、対案を出して前に進むのではなく、なんとなく「ノ

ら、いろいろなレッテルを貼つて社会から排除してきた。
—無責任な日本人の社会で生じる弊害はなんでしょう。

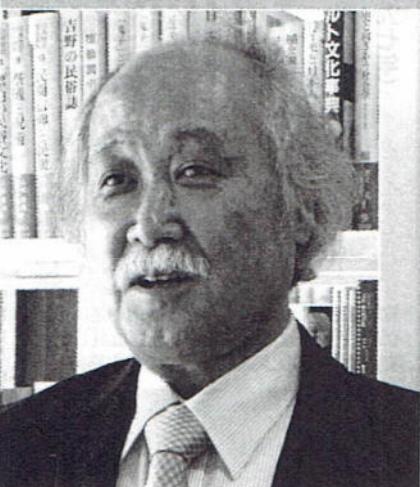
新谷 責任を問うというのは、原因を追究するといふことに繋がる。日本では国や企業の不祥事でさえも原因をきらんと明らかにしない。そして、上級の先生の言うことを聞く子が良い子という。これでは創業したり、発明をしようという意識は育たない。当然、世界的起業家が続々と出てくる米国のようにはなれないだろう。

Interview

新谷尚紀

(国立歴史民俗博物館名誉教授)

1948年広島生まれ。71年早稲田大学第一文学部史学科卒業、98年に慶應義塾大学で博士号取得(社会学)。国立歴史民俗博物館、国立総合研究大学院大学、國學院大學文学部及び大学院などで教授を歴任。著書に『神社とは何か』など多数。



—七月には参院選がありましたが、選挙で社会は変わりませんか。

新谷 自立心も自覚もない日本人は「しようがないよね」で終わってしまう。権力者のほうも「よくやっている」という風に見せるのは得意。結果として、選挙なんて機能していないのではなく、大好きな選挙権を与えて、権利を持っている人に自覚がなければ意味がない。良い選挙民を育てるのが教育の基本だが、それを怠ってきた結果として無自覚な投票民だらけになつた。これで社会が変わるのはずがない。

ば変えられますか。

新谷 たとえば、「創業者」を畏敬

する意識を植えつける教育はどうだろう。東京電力であれ日本銀行であれ、同している人間には成し遂げられない。

そういうことを教育の場で伝えていくべきだ。日本の教育は、みんな横並びで学校の先生の言うことを聞く子が多い子という。これでは創業したり、発明をしようという意識は育たない。

当然、世界的起業家が続々と出てくる米国のようにはなれないだろう。

—七月には参院選がありましたが、選挙で社会は変わりませんか。

新谷 自立心も自覚もない日本人は

「しようがないよね」で終わってしまう。権力者のほうも「よくやっている」という風に見せるのは得意。結果として、選挙なんて機能していないのではなく、大好きな選挙権を与えて、権利を持っている人に自覚がなければ意味がない。良い選挙民を育てるのが教育の基本だが、それを怠ってきた結果として無自覚な投票民だらけになつた。